

当報告の内容は、それぞれの発表者の著作物です。

共同利用・共同研究課題「東・東南アジアにおける地域間越境移住の人類学 ―結婚（離婚）移住ネットワークにみる文化・エスニシティとアイデンティティー」第7回研究会

日時 2012年2月25日 13:30~18:00

場所 本郷サテライト4階

主催：交流協会共同研究「日本・台湾における日台越境的な移住者の言語・文化・アイデンティティーをめぐって」

共催：共同利用・共同研究課題「東・東南アジアにおける地域間越境移住の人類学 ―結婚（離婚）移住ネットワークにみる文化・エスニシティとアイデンティティー」

国際ワークショップ

《結婚移住とそれに伴う文化、言語使用の変化：台湾と日本の事例から》

1)三尾裕子（AA 研所員）

「趣旨説明」

2)蔣爲文（国立成功大学）・蔡氏清水（国立成功大学）

"Language Use and Attitude of Vietnamese New Immigrants in Kaohsiung, Taiwan"

コメンテータ：岩井美佐紀（AA 研共同研究員、神田外語大学）

3)伊藤佳代（国立成功大学）・陳麗君（国立成功大学）

「台湾と日本国間における国際結婚家庭の言語継承をめぐって」

コメンテータ：石井香世子（AA 研共同研究員、名古屋商科大学）

4)横田祥子（日本学術振興会）

「日台国際結婚家族調査の中間報告」（三尾代読）

コメンテータ：工藤正子（AA 研共同研究員、京都女子大学）

5)全体討論

1) 三尾裕子 「趣旨説明」

今回のワークショップは、交流協会共同研究「日本・台湾における日台越境的な移住者の言語・文化・アイデンティティーをめぐって」による研究の成果を公表することが目的である。

日本や台湾では、1990年代からグローバル化や人口減少少子化によって、外国人労働者が増加するだけでなく、外国人との結婚が増えてきている。この傾向は、特に台湾では顕著であり、外国人との対等な関係を前提とした多文化共生社会の形成が大

きな課題となっている。本研究では、こうした社会の要請に応える基礎となる実証的な研究を目指している。

まず本研究では、これまで活発な研究が行われてきたとは言えない在日台湾人、在台日本人に注目し、これらの人々を彼等の子孫（二世）を含めて「越境移住者」と規定し、彼等の言語・文化・アイデンティティーの重層性と変容を、社会言語学、文化人類学的視点で考察することを目的としている。今回のワークショップでは、この目的に基づいて、3組の共同研究成果を発表する。

伊藤報告では、日本語と継承語のバイリンガル教育の発展を図るための基礎研究として、在台的国際結婚家庭の二世に対してOBCテストを行い、彼等の日常的な言語活動の実態、日本語運用能力、彼等の日本語能力と、日常的な日本語使用（会話）と読み書き学習の3者の関係について考察する。

伊藤の報告が社会言語学的な観点からのものになるのと対照的に、横田祥子報告では、同様に台湾に居住している日台国際結婚カップルを扱うが、主に文化人類学的な視点から、国際結婚カップルの社会階層、婚姻締結時の贈与交換のあり方、母語伝達（母語教育、継承後教育？）に対する意識と実践、家庭に於ける祭祀への参加など具体的な実態を明らかにしている。夫婦の社会階層や両者の間の格差の有無、カップルそれぞれの実家との関係などが、言語の使用や教育に大きな影響を与えていることが理解されよう。

陳の報告では、逆に日本における台湾人配偶者の言語の継承の問題が取り上げられている。伊藤と同様に、OBCテストが行われ、台湾人配偶者の日常的な言語活動の実態、中国語や台湾語の使用実態、2世への継承などが検討されている。

蔣・蔡報告では、台湾での外国人配偶者研究の比較の事例として台湾に婚入したベトナム女性及びその家族（婚家）に注目して、言語使用の実態が報告される。日本人が台湾人と結婚する場合と、ベトナム人が台湾人と結婚する場合の言語使用に関する意識、実践には大きな違いが見られることが本報告から明らかになるだろう。

## 2) Wi-vun Chiung (蔣為文)・Thai Thi Thanh Thuy (蔡氏清水) Language Use and Attitude of Vietnamese New Immigrants in Kaohsiung, Taiwan 台灣高雄地區越南新移民的語言使用與態度

Marriages between persons from different countries have become more and more common in the globalization era. Taiwan is no exception to this phenomenon. According to the statistics of Taiwan's National Immigration Agency, Ministry of Interior, in February 2010 foreign spouses in Taiwan numbered 431,723. These foreign nationals account for 1.87% of Taiwan's total population. Among the foreign spouses, Vietnam is one of the major source countries of foreign spouses.

The purpose of this study is to investigate language attitude and language use of the Vietnamese female immigrants in the Ka-tiann and Oo-lai Districts of Kaohsiung city in Taiwan. The field survey includes questionnaire, in-depth interview, and observation of their daily life. A total of 64 subjects were interviewed during the period of December 2010 and March 2011. The major preliminary findings are summarized as follows:

**Language capability:** the Vietnamese female new immigrants still maintain good skill of listening, reading and speaking but not writing of Vietnamese while living in Taiwan. With respect to Taiwanese language, their listening and speaking skills are apparently better than reading and writing skills. For majority of respondents, their Chinese language capability is better than Taiwanese language capability. English is hardly used by these respondents.

**Language use:** the Vietnamese female new immigrants tend to speak Taiwanese with their family members. On the contrary, outside their families they use Chinese language. They consistently use Vietnamese language to communicate among their Vietnamese fellows. At other places such as religious premises, market they use Taiwanese. At the administrative places, on the contrary they usually use Chinese. As for the immigrants' children, some of them are able to listen and speak conversational Vietnamese.

**Language attitude:** the Vietnamese female new immigrants all agree that Chinese and Taiwanese languages are beneficial and helpful to their lives. They also agree that their children should learn both Chinese and Taiwanese during the childhood. At the same time they are worried about their inadequate capability of Chinese and Taiwanese in the education of their children. Most subjects expressed their love for their Vietnamese mother tongue. Although most subjects would like Vietnamese language to be inherited by their children, less than half of their children can speak Vietnamese in practical cases.

**Keywords:** Vietnam, Taiwan, immigrants, language use, language attitude

### 3) 伊藤佳代・陳麗君 「台湾と日本国間における国際結婚家庭の言語継承をめぐって」

本研究では、日本と台湾における日台国際結婚家庭内の継承語と生活言語との競争的あるいは相互依存的関係の言語意識と言語使用を解明し、さらにどのような母語保持努力が継承語能力に働くかについて検討する。

研究方法はアンケートで日台国際結婚家庭内の言語活動および言語意識を明らかにし、OBCテスト (Oral Proficiency Assessment for Bilingual Children) で子女の会話能力を評価した。さらにどのような言語活動が継承語の会話力に影響するか、その要因について関連性を統計的に検討した。

その結果、台湾における日台国際結婚家庭内では継承語の日本語が多く使われており、また多くの家庭が日本語による読み聞かせや日本語の勉強を継続的に行っていることが分かった。そして子女の日本語会話能力は中国語会話力と同等レベルまで達していることが明らかにされた。さらに日本語会話力に影響する要因については、父子間及び兄弟間での言語使用状況、また子どもが普段日本語で話す友達がいるか、そして日本語での読み書き学習の頻度との間に関連があることが示された。それに対して、日本における日台国際結婚家庭内の初歩調査では、継承語 (中国語や台湾語) による言語活動が限られており、子女の継承語力は低いことが明らかにされた。

### 4) 横田祥子 「日台国際結婚家族調査の中間報告」

本報告は、11月21日～30日にかけて、台北、台中で日台国際結婚夫婦10組に対し行った聞き取り調査を元に、夫婦の属性、婚姻時の贈与交換の内容、親の扶養や介護、夫婦それぞれの言語、文化をどのように尊重しているか、祖先祭祀などの重要な儀礼への参加、姻族間の交際、夫婦の交友ネットワークについて得られたデータを報告する。婚姻時の贈与交換は省略されることが多く、異文化間の調整が省略という形で済まされていることが分かった。また、祖先祭祀などの重要な儀礼においても、日本人妻の中で参加を義務付けられている人は少なく、伝統的知識の継承から自由であることも分かった。その一方、子どもの教育においては、日本語、日本の習慣、文化の継承が熱心に行われており、母親の文化の継承が相当程度、尊重されていることが明らかになった。